

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		合志市体育指導委員協議会配置事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名 高木敏明
	施策	20	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名 中島 仁
	基本事業	69	生涯学習団体やスポーツ団体の組織化の推進		所属班	スポーツ振興班	(内線) 1505
					法令根拠	スポーツ振興法	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
	1	10	6	1	10824			コスト削減優先度評価結果	6

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 昭和36 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
・スポーツ振興法に基づき配置、合志市におけるスポーツに関する事業に協力し、スポーツについて指導助言を行い理解を深める活動を行うために体育指導委員を配置する。現在27人。

【業務の流れ】
・会議の開催、研修・講習会の企画、出前講座の手配、費用弁償等の手配、体育指導委員手帳等の消耗品の購入事務、スポーツ傷害保険加入事務、県体育指導委員協議会への負担金支払い事務

【主な予算費目】
・旅費(費用弁償) 報酬 消耗品費 役務費 負担金

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 月例会議の開催、市主催スポーツ振興事業への協力依頼、出前講座等への派遣依頼	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度と同じ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 合志市民	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 体育指導委員の出席(派遣)機会事業回数 回 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) スポーツに親しんでもらえる	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 合志市民 人 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 学習やスポーツに取り組む仲間ができる。 学習やスポーツリーダーになる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 年間市主催のスポーツ関係行事に参加した市民の割合 % → イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 活動している生涯学習・スポーツ団体数 団体 → イ 市内在住のインストラクター数/生涯学習施設で各種講座を担当しているインストラクター数 人

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	2,200	2,232	2,583	2,182	2,519	2,583		2,583
		うち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0		0
		うち時間外、特殊勤務手当	千円	0	0	0	0	0	0		0
		正規職員従事人数	人	5	5	2	6	5	2		2
		延べ業務時間	時間	150	150	80	45	45	45		45
(B) 人件費計	千円	596	597	318	179	179	179	179	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,796	2,829	2,901	2,361	2,698	2,762	2,762	0		
活動指標	ア イ	回	57	60	61	68	69	70	70		
対象指標	ア イ	人	53303	53909	54518	54518	55124	55732	56281		
成果指標	ア イ	%	7.3	7.9	8	8.4	8.5	8.6	8.7		
上位成果指標	ア イ	団体 人	376 79.8	297 57.4	384 82	338 57.4	387 83	390 84	390 84		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
・スポーツ振興法にうたってあり、住民のスポーツ振興のための企画立案、指導助言を目的に昭和36年度に配置された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
・旧町時代の体育指導委員の定数はそれぞれ15名であったが、合併後30名以内になった。
・高齢化社会を迎え、高齢者向けの講座の要請が増えてきた。また、スポーツ振興基本計画や健康増進法などの制定により、健康ブームからスポーツを楽しむ人が増え益々活動が増えている。
・平成12年にスポーツ振興基本計画が制定され、平成18年に一部改正された。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・高齢者向けの講座の要請
・健康ブームからスポーツを楽しむ人が増え、体育指導委員の手伝いが必要だという意見
・区やコミュニティーから体育指導委員の出前講座で大変親切に分かりやすく指導いただいたという意見

事務事業名	合志市体育指導委員協議会配置事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ ・意図の体育指導委員の資質を向上させることにより、結果の学習やスポーツに取り組む仲間ができる。 ・学習やスポーツリーダーになるに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ ・市民が健康で、明るいまちづくりを推進していくためには必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ ・対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ ・住民への体育指導委員の知名度も向上し、派権機会も年々増加してきている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ ・スポーツによる健康なまちづくりができなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ ・福祉関係課と連携することにより向上が期待できる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・必要最小限の出席にし事業費を削減している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・効率的におこなっている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ ・地域の代表である体育指導委員は全市民を対象にサービスを展開しており、住民は体育指導委員を活用する機会を公平に与えられているから。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性については、スポーツに関する市民参加については、PRにも工夫を凝らしながら進めていった。広報紙や各種大会等での周知の結果もあり、出前講座の依頼等が増えた。地域サロンなど福祉部と連携を深めることで、更なる相乗効果が得られる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・スポーツに関する市民参加については、さらに方法、PRにも工夫を凝らしながら進めていく。 ・19年度から、社会福祉協議会関係のサロン(会場使用料の減免措置あり)に体育指導委員が指導に行くなどのタイアップ効果が増えた。更なる活用が期待される。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・福祉部門とのさらなる連携

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	6	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	8	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)